

い
— ともに生きるためには —



「人を思いやる、支えることは障がいの有無に関わらずできる。ダンスを通して困っている人を応援したい。」と話されました。

息の合ったダンス。
子どもたちは引き込まれる
ように見入っていました。



すっかり仲良くなった出演者
と心を通わす子どもたち。



が つ ち しょうがっこう こう ねんせい じんけんがくしゅう いっかん
5月11日、小学校3校※1の6年生が人権学習の一環で、
くるま かんしょう
車いすダンスを鑑賞※2しました。

なか う あ くるま の ひと
ライトの中に浮かび上がるダンサー。車いすに乗った人と
の ひと くるま たく うご まわ うご
乗らない人が車いすを巧みに動かして回ったり、ペアで動き
あ おど こ きれい おど おお
を合わせて踊ったり。子どもたちは華麗に踊るダンサーに大き
はくしゅ おく しゅつえんしゃ しょう ひと
な拍手を送っていました。出演者からは「障がいのある人と
ひと い
ない人がともに生きるためにはどうすればよいか」というテー
はなし しょう しゃりかい ふか じかん
マで話があり、障がい者理解を深める時間になりました。

※1 四條畷南小、岡部小、くすのき小

※2 一般財団法人ジェネシスオブエンターテイメントによる演技と講演